令和５（2023）年度
事業計画書　収支予算書

西宮商工会議所

令和5(2023)年度　事業計画書

目　　次

Ⅰ．基本的な考え方
1.社会経済情勢　2頁
2.本商工会議所の状況　3頁
3.令和5(2023)年度の取り組み　4頁
(1)企業力を強化する　～企業を育て持続的な発展を目指す～
(2)地域力を強化する　～地域特性を活かし産業基盤を支える～
(3)組織力を強化する　～組織体制を強化し会員満足度を高める～
(4)特定課題への対応

Ⅱ．主要施策、事業の概要
1.企業力を強化する　～企業を育て持続的な発展を目指す～　7頁
(1)中小・小規模事業者の支援
(2)にしのみや起業家支援センター(みやスタ)を核とした起業・創業の支援
(3)雇用対策・人材育成の支援
(4)販路開拓の支援
(5)持続可能な社会の実現
2.地域力を強化する　～地域特性を活かし産業基盤を支える～　9頁
(1)地域資源のブランド化
(2)商店街・まちなか活性化の推進
(3)にしのみや地域経済交流センターを核とした地域活動の支援
3.組織力を強化する　～組織体制を強化し会員満足度を高める～　9頁
(1)新規会員の獲得と定着
(2)組織財政基盤の強化
(3)会議所のデジタル化・DX推進と情報発信の強化
(4)要望・提言活動の推進
(5)関連団体事務の受託
4.特定課題への対応　11頁
(1)デジタル化・DX推進特別委員会の設置
(2)SDGs推進特別委員会の設置
(3)「第3次中期行動計画(2024～2028年)　～地域とともに西宮の未来を創る～」の策定

Ⅰ．基本的な考え方

1.社会経済情勢

わが国の経済は、資源高や海外経済減速による下押し圧力を受けるものの、コロナ禍や供給制約の影響が和らぐもとで、緩和的な金融環境や政府の経済対策の効果にも支えられて、回復していくとみられている。

政府は、3月13日からマスク着用について屋内外を問わず個人の判断に委ねるとともに、5月8日には新型コロナウイルス感染症の分類を「2類相当」から感染症法上の分類が季節性インフルエンザと同等の「5類」に移行させる。平時対応へのシフトを進めることで、経済活動における制限は原則撤廃され正常化に向け大きな一歩となるが、中小企業・小規模事業者(以下、「中小企業等」という。)がこの動きに乗り遅れないよう、ポストコロナを見据えた対策を講じなければならない。

しかしながら、すでにコロナ禍で中小企業等の債務過剰感は高まっており、今後業績回復が見通せない場合、経営者の高齢化も相まって、過去にない規模で休廃業が増加すると見込まれている。短期的には中小企業等の資金繰り支援、コロナ禍で疲弊した事業者支援の継続が不可欠となるが、中長期での影響が懸念されるエネルギー・原材料価格高騰等の影響は、コロナ禍からの業績回復、さらなる成長を目指す企業経営の足かせとなる。

このような中、地域経済や企業には、政府の各種経済対策や財政金融政策に支えられた回復から、自助努力による自立的な回復へと移行することが期待されている。政府は、ポストコロナに対応した社会経済構造への転換につなげるため、「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」により2050年カーボンニュートラルの実現に向けた企業の取り組みに対して、幅広い支援策が実施され、また「デジタル社会の実現に向けた重点計画」によりこれからの日本が目指すデジタル社会の姿とそれを実現するために必要な考え方や取り組みが示された。中小企業等は、10月から導入されるインボイス制度への対応を始め、これらの方針を新たなビジネスチャンスと捉え、ポストコロナへの対応や中長期的な視点に立った経営戦略・事業展開を再構築することが重要となる。

また令和7年に開催される大阪･関西万博(2025年日本国際博覧会)は、来場者数が2,820万人、経済波及効果が約2兆円と試算されている。これを契機として、県では様々な機運醸成事業を実施しベイエリアへの投資促進を検討するなど、地域経済の活性化に向けて高い期待を寄せている。

こうしたことを踏まえ、長期化するコロナ禍や物価高騰の影響を乗り越えるため、会議所が中核となり中小企業等に寄り添った支援を徹底しなければならない。さらに、デジタル化･DXやSDGs推進等の中長期的な支援を実施することで、中小企業等の持続的な成長を促し地域経済の好循環を拡大しなければならない。会議所自身もポストコロナへ対応しながら、未来を創る会議所への変革に向けて取り組みを進める。

2.本商工会議所の状況

会議所においては、「新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口」及び「ウクライナ情勢・原油価格上昇等に関する特別相談窓口」を設置して以降、資金繰りや雇用維持、補助金活用といった数多くの経営に関する相談に対応してきた。

また令和4年5月には4回目となる「新型コロナウイルス感染症の影響に関する緊急アンケート」を実施するとともに、業種別の10部会役員会においても業界特有の要望を聴取した。これらのアンケート結果や中小企業等の声をとりまとめ、「市内事業者の総意」として国・県・市へ届けるとともに、会議所の事業活動に反映させた。

会議所創立80周年記念事業として4年3月に完成した西宮商工会館には、新たに起業家をワンストップで支援する拠点として「にしのみや起業家支援センター(以下、「みやスタ」という。)」を整備し、また地域の経済活動の拠点として「にしのみや地域経済交流センター(以下、「地域経済交流センター」という)」を整備した。

この新しい商工会館に整備したみやスタは、300名を超える起業家が活用する施設として着実に成長し、80名を大きく超える起業家を輩出するなど多くの市内起業家の掘り起こしに成功した。また地域経済交流センターでは、地域の賑わいづくりのため、1階ピロティを活用したキッチンカー出展事業や、市内在住のクリエイターと市内事業者とのマッチングを行う西宮クリエイターズリスト展に取り組んだ。

また会議所では、3つの基本方針である企業力・地域力・組織力の強化を軸に長期化するコロナ禍や物価高騰等により厳しい状況にある多くの中小企業等を支援してきた。企業力の強化では、会議所創立80周年記念事業として大規模展示会・メッセナゴヤ2022への共同出展により会員事業所11社の販路開拓を支援した。地域力の強化では、80周年記念事業として3年ぶりに第26回西宮酒ぐらルネサンスと食フェアを実施し、コロナ対策を徹底しながら「西宮の日本酒文化の発信」という従来のイベントコンセプトに原点回帰し多くの来場者に楽しんでいただいた。またChallenge80として西宮ブランド80品目の認定に取り組み、会議所WEBサイトで公開している。組織力の強化では、巡回強化や会員サービスの徹底により会員総数3,000余りの維持に努めた。またChallenge80として健康経営推進に取り組み、多くの会員事業所の「健康経営優良法人2023」認定に向けた申請を支援した。

このような中、会議所も新しい時代の到来を見据え、ポストコロナの経済社会に挑戦する意欲ある事業所を後押しするとともに、会員や地域等の多様なステークホルダーから信頼される組織を目指していかなければならない。このため、中小企業等が抱える様々な課題に丁寧に向き合い、地域特性を活かした賑わいづくりを推進し、また会議所組織の機能強化を図りながら「西宮の企業を育て産業の未来を拓く」会議所を目指す。

3. 令和 5(2023)年度の取り組み

令和 5 年度は、第 29 期(4 年 11 月～7 年 10 月)の実質的なスタートの年となるが、創立 70 周年に掲げた会議所のスローガン「輝くひとづくり ものづくり ことづくり　まちづくり」を継承的創造という視点を持ち会議所活動を推進する。

「第 2 次中期行動計画(2019～2023 年) ～西宮の企業を育て産業の未来を拓く～」で示した 3 つの基本方針である企業力・地域力・組織力の強化について、4 つの委員会(総務企画、企業力強化、地域力強化、組織力強化)と連動しながら実践するが、今日的課題である「デジタル化・DX 推進」及び「SDGs 推進」に対応するため 2 つの特別委員会を新たに設置する。これらの特別委員会の提案事項を基に、会議所が率先垂範し「デジタル化・DX 推進」及び「SDGs 推進」に取り組むとともに、地域の実情に沿った事業者支援に努める。

また 5 年度は、会議所が目指すべき未来の姿とその実現に向けた第 2 次中期行動計画が最終年を迎える。この期間に取り組んできた各種施策・事業を評価・検証した上で、会議所スローガンを基本理念に据えた「第 3 次中期行動計画(2024～2028 年)　～地域とともに西宮の未来を創る～」を会議所活動の活動指針として新たに策定する。

(1)企業力を強化する　～企業を育て持続的な発展を目指す～

ポストコロナ時代における経済社会への変化を見据え、中小企業等に寄り添いながら、中小企業等が抱える経営課題の解決、起業家の発掘・育成、雇用対策・人材育成、販路開拓について重点的に取り組む。

中小企業等の支援については、基礎的な経営支援に加え、経営発達支援計画に基づく伴走支援に中小企業相談所が一丸となり取り組む。また、5 年 10 月に導入されるインボイス制度への対応等足元の取り組みから、中小企業等のステージに応じたデジタル化や DX・SDGs 推進等の中長期的な取り組みまで、中小企業等の様々な経営課題に適切に対応する。特に、各委員会ではデジタル化や DX 推進に期待の声が寄せられているため、これを重点項目として事業者の支援に努める。加えて、事業者がサプライチェーン全体の付加価値向上、大企業と中小企業の共存共栄を目指す「パートナーシップ構築宣言」の推進に努める。

また国・県・市等の各種支援施策の活用を推進するため、所報やホームページ、SNS によるタイムリーな情報提供に加え、各種制度の集合説明会や個別申請支援を実施し中小企業等が各種制度を利用できるようきめ細かな支援に努める。さらに事業継続力強化支援計画に基づき、緊急時に事業の継続・早期復旧を図る BCP(事業継続計画)策定を支援するほか、北部地域における出張形式の経営相談会について、北部地域の全ての中小企業等に案内するなど利用の拡大を図る。

みやスタを核とした起業・創業の支援については、みやスタ運営計画に基づき、市や関係機関、包括連携協定を締結している大手前大学と武庫川女子大学と連携しながら着実に取り組みを進め

る。みやスタでは、4年度に80名を超える起業家の輩出に成功したほか、新たに実施した起業家交流会やみやスタビジネスプランコンテストには多くの期待が寄せられている。この実績や評価を維持するため、みやスタの運営体制を充実するとともに、支援メニューの拡大を図る。

また後継者問題を抱える中小企業等の円滑な事業引き継ぎや事業承継を促進するため、兵庫県事業承継・引継ぎ支援センターとの連携強化をはじめ、起業家への事業引き継ぎやM&Aを支援する。

雇用対策・人材育成の支援については、新入社員研修をはじめ職務別や階層別、課題別の人材育成研修に加え、講師派遣型のオーダーメイド研修の充実を図り、中小企業等の生産性向上を人材育成面から支援する。またChallenge80で多くの健康経営優良法人認定を支援したが、引き続き健康経営の推進を図る。

販路開拓の支援については、市内製造業を中心に中小企業等が開発した新製品・新技術等の全国展開を支援するため大規模展示会への共同出展を行い、市内産業を広くPRすることで数多くのビジネスマッチングや業務提携の成立を目指す。

(2)地域力を強化する　～地域特性を活かし産業基盤を支える～

西宮が誇る豊富な地域資源(自然環境、風土、歴史、文化等)を産業活動に活用するとともに、酒造業をはじめ、多くの飲食料品関連産業が集積する「食のまち」としての特色を活かし、日本酒をはじめ食分野における観光資源を「西宮ブランド」として育成・発信するなど地域産業の活性化を継続して支援する。

地域資源のブランド化については、コロナ感染症が2類相当から5類への移行に伴い、「西宮酒ぐらルネサンスと食フェア」の実施内容について実行委員会で意見をとりまとめる。また事業者・市・観光協会と連携を図りながら、「とおかし」や「西宮洋菓子園遊会」の取り組みにより地域の和菓子・洋菓子のブランド力を高めるとともに、これまで育成してきたコーヒーなどの地域ブランド商品やChallenge80で認定した多くの逸品を大規模商業施設で展示販売する。加えて、西宮市ふるさと納税への件数・金額が低迷しているとの指摘があったため、市と連携しながら返礼品の発掘と磨き上げに取り組み、西宮ブランド商品の魅力を全国に発信する。

さらに事務を受託している西宮市商店市場連盟との連携を深め、商店街やまちなかの一層の活性化を図るとともに時代に即した各商店街の魅力発信を支援する。

地域経済交流センターについては、中長期的な視点から活用計画を策定し、マルシェや展示会等の実施による地域ブランド商品の販路開拓の支援に加え、キッチンカーによる商工会館の賑わいづくりや、地域の文化芸術団体や子育て団体・グループ等の意見を踏まえた取り組みを行い、「地域とともにある」会議所の実現を目指す。

(3)組織力を強化する　～組織体制を強化し会員満足度を高める～

会議所は地域で唯一の総合経済団体として多くの事業者からの信頼を得られる存在でなければならない。そのためには経営指導員等による会員事業所への巡回訪問を年 1 回以上実施し、会議所と会員事業所の間で顔の見える関係づくりに取り組むことが不可欠である。また会員の経営課題やニーズの的確な把握に努めるとともに、幅広い会員サービスをアピールすることにより新規会員の獲得や会員の定着、退会の防止、未収会費の縮減を図る。

このことを組織一丸となり推進するため、組織力強化委員会の提案を基に効果的な取り組みを検討し、会員数の純増、会員満足度の向上を目指す。また新たな取り組みとして「新規会員交流会」を実施し、コロナ禍で加入した多くの新規会員へのフォローや退会防止を図り、会員 3,000 余りの維持に努める。

会議所自身も率先してデジタル化・DX 推進を図るため、デジタル化・DX 推進特別委員会の提案を基にサービスの高度化や業務の効率化を図る「スマート CCI(商工会議所)」への転換に取り組みを進める。特に、会議所が主催する各種会議の案内・出欠のデジタル化や配布資料のペーパーレス化を図るとともに、従来の所報と FAX 送信に加え、新たにデジタル記事の配信によりタイムリーに有益な情報を発信できる体制を整える。

会議所の基礎的な活動である部会、委員会においては、有益なセミナーや先進事例を有する施設見学会の実施、会議所役議員や会員間との意見交換や交流の場を提供し、会員メリットが感じられる取り組みを行う。

要望・提言活動の推進については、国・県・市政に事業者の声を届け要望の実現に向け取り組むため、アンケート調査を実施し市内事業者の現状把握に努める。

このほか、国・県・市の補助金等特定財源に加え、会議所共済の加入促進や商工会館貸会議室の活用推進、簿記検定の実施手法見直しなど自主財源を拡大し、組織財政基盤の一層の安定、強化を図る。

(4)特定課題への対応

コロナ禍により社会経済は大きく変容する中で、中小企業等のデジタル化の遅れが課題として顕在化したため、デジタル化・DX 推進を強力に後押しすることが求められる。また、大企業に比べて中小企業等の SDGs の浸透が遅れていると指摘されているため、持続可能なまちづくりを担う中小企業等の SDGs への取り組みを後押しすることが重要である。

会議所では、中小企業等や地域のデジタル化・DX 及び SDGs を推進するため、デジタル化・DX 推進特別委員会を設置し、またエコタウンづくり推進特別委員会を SDGs 推進特別委員会へと発展させ、時代が求めるニーズに応えるとともに、会議所自身もこれらの課題に率先垂範し取り組む。

また、会議所が実施した各種アンケート調査や市の産業実態調査の結果を踏まえ、ポストコロ

ナを見据えた各種施策や、商工会館の新たな機能であるにしのみや起業家支援センターや地域経済交流センターを最大限活用することを盛り込んだ「第3次中期行動計画(2024～2028年)～地域とともに西宮の未来を創る～」を新たな会議所活動の指針として策定する。

Ⅱ．主要施策、事業の概要

注記　【新】：新規事業、【拡】：拡充事業

1．企業力を強化する　～企業を育て持続的な発展を目指す～

(1)中小・小規模事業者の支援

① 【拡】価格高騰や長期化するコロナ禍の影響を受ける事業者への支援

・「ウクライナ情勢・原油価格上昇等に関する特別相談窓口」、「新型コロナウイルスに関する経営相談窓口」による中小企業者に対する資金繰りや経営に関する相談対応

・アンケート調査等による事業者の要望集約と、国・県・市等への要望・提言活動の実施

・国・県・市等の支援施策の情報発信や活用推進、各種補助金等の個別相談会の実施

② 経営改善普及事業による小規模事業者の活力強化

・巡回訪問等による経営指導や情報提供の徹底、オンライン経営相談の実施

・様々な経営課題を解決するための専門家派遣、個別相談会の実施

・北部地域における出張経営相談室の継続実施

・マル経融資(小規模事業者経営改善資金)及び各種制度融資の利用促進

・兵庫県よろず支援拠点・西宮サテライト及び兵庫県事業承継･引継ぎ支援センター・西宮サテライト相談窓口の設置による相談機能の強化

③ 小規模事業者支援法(令和元年改正)に基づく経営発達支援計画(3期目)の推進

・小規模事業者の経営状況の分析から事業計画策定･策定後の支援に至る伴走型経営支援の推進

・経営発達支援計画評価委員会による本計画の検証・評価

④ 小規模事業者支援法(令和元年改正)に基づく事業継続力強化支援計画(2期目)の推進

・中小企業強靭化法に基づく認定制度である「事業継続力強化計画(BCP)」の策定支援

・【新】介護事業所向け　BCP設定に向けた支援

⑤ 中小・小規模事業者が抱える経営課題への対応

・経営革新等認定支援機関としての支援(中小企業119、経営力向上計画策定等)

・小規模事業者持続化補助金、事業再構築補助金等国・県・市等各種補助金の活用支援

・中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画の策定支援

・兵庫県事業承継・引継ぎ支援センターとの連携による事業承継の支援

・【拡】インボイス制度・電子帳簿保存法への対応支援

・【拡】中小・小規模事業者のIT化・デジタル化の支援、DXの推進

・ 生産性向上や優秀な人材確保のための働き方改革支援
・ 健康経営優良法人認定の取得支援
・ 【拡】SDGs の取り組み支援
・ 日本政策金融公庫や地域金融機関との連携強化による金融支援
・ 市内大学との産学連携の推進による新商品やサービスの開発支援
・ 【新】「パートナーシップ構築宣言」の取り組み推進

(2)にしのみや起業家支援センター(みやスタ)を核とした起業・創業の支援

① にしのみや起業家支援センター(みやスタ)の運営
・ 第 2 回起業家交流会及びみやスタビジネスプランコンテストの実施
・ 起業フォーラム、みやスタ起業塾、みやスタゼミ等の実施
・ コワーキングスペースや情報発信ルーム等の提供
② にしのみや起業家支援センター(みやスタ)運営評価委員会による評価

(3)雇用対策・人材育成の支援

① 雇用対策・人材育成の支援
・ 【新】働き方改革推進支援事業
・ 職場改善のためのオーダーメイド型(講師派遣型)研修の実施
・ 西宮市大学交流センターや市内大学キャリアセンターにおける市内企業 PR コーナーの設置
・ 合同就職説明会(西宮市・ハローワーク西宮との共催)など人材確保の支援
② 西宮地区雇用対策協議会との連携事業
・ 新入社員研修、新入社員フォローアップ研修、就業規則セミナー等の実施
・ 各種人材育成研修(階層別、職種別、テーマ別)の実施
③ 兵庫働き方改革推進支援センターとの連携
・ 定例労務個別相談会の実施

(4)販路開拓の支援

① 大規模展示会への共同出展
② 【拡】大規模商業施設や市有地を活用した地域ブランド商品販促イベントの実施
③ 阪神間 4 商工会議所会員大交流会(主幹：尼崎商工会議所)の実施
④ 【拡】SNS や各種メディアの活用による販路拡大に向けた IT 活用・DX 推進セミナーの実施
⑤ 事業者間のマッチング支援
・ ザ・ビジネスモールの活用推進

(5)持続可能な社会の実現

① SDGs(持続可能な開発目標)の推進

・【拡】SDGs の取り組み支援

② 所報を活用した SDGs(持続可能な開発目標)に取り組む事業所の PR

2. 地域力を強化する　～地域特性を活かし産業基盤を支える～

(1)地域資源のブランド化

① 日本酒の振興

・第 27 回西宮酒ぐらルネサンスと食フェアの実施

・西宮日本酒学校修了式の実施

・西宮蔵開の支援

② 西宮洋菓子ブランド発信事業実行委員会の支援(西宮洋菓子園遊缶イベントの実施)

③ 西宮和菓子ブランド発信事業実行委員会の支援(「とおかし」の支援)

④ 【新】西宮市ふるさと納税返礼品の発掘・磨き上げ

⑤ にしのみやコーヒーの扉プロジェクトの支援

⑥ 西宮市・西宮観光協会と連携した「まちなか観光」の推進

(2)商店街・まちなか活性化の推進

① 西宮市商店市場連盟を中心とした商店街等の支援

② 兵庫県・西宮市の商店街新規出店・開業等支援事業補助金の活用支援

(3)【拡】にしのみや地域経済交流センターを核とした地域活動の支援

① マルシェや展示会等の実施による地域ブランド商品の販路開拓支援

② 地域の文化芸術団体や子育て団体・グループ等の活動支援

③ 西宮商工会館ピロティを活用したキッチンカー等による販路開拓支援

④ 【新】西宮クリエイターズリストの支援(市内クリエイターと事業者のマッチング支援)

3. 組織力を強化する　～組織体制を強化し会員満足度を高める～

(1)新規会員の獲得と定着

① 組織一丸となった会員増強の推進

・新規会員の獲得と会員の定着、退会防止に係る方策の検討

・ 会員 3,000 余りの維持

② 全会員への巡回訪問による会員満足度の向上

③ 【新】新規会員交流会の実施

(2)組織財政基盤の強化

① 正副会頭会議、議員総会、常議員会、議員懇談会、議員クラブ活動等の実施

② 会議所共済制度の推進による会員事業所の福利厚生の充実支援

③ 商工会議所検定(日本商工会議所、東京商工会議所)の普及・推進、ネット検定への対応

④ 珠算検定(日本珠算連盟)の普及・推進、競技大会の実施

⑤ 会議所パソコン教室の運営

⑥ 職員の資質及びモラールの向上

⑦ 部会・委員会活動の活性化、青年部・女性会活動の支援

(3)会議所のデジタル化・DX 推進と情報発信の強化

① 【拡】会議所のデジタル化・DX 推進

② 会議所活動の情報発信

・ 所報「れぽると」の内容充実

・ 会議所ホームページ、各種 SNS 等を活用した情報発信の強化

・ 【新】情報発信のデジタル化

③ 会員サービス事業の推進

・ 労働保険事務の代行

・ 貿易関連証明の発給(オンライン発給を導入)

・ 小規模企業共済及び経営セーフティ共済(中小機構)の事務委託

・ 容器包装リサイクル法に基づく再商品化委託

・ 健康診断、PET/CT 検診の受診料割引サービス、ひょうご DC プラン

④ 賀詞交歓会の実施

⑤ 「市民に拓かれた商工会議所」の推進

・ 第 31 回くすの木コンサート

・ 社会貢献活動、国際交流活動の推進

(4)要望・提言活動の推進

① 各部会・委員会活動、巡回等を通じての会員意見の集約

② 国・兵庫県・西宮市等への政策要望・意見の具申

③ 兵庫県・西宮市幹部と正副会頭との懇談会の実施

④ 日本商工会議所・関西商工会議所連合会・兵庫県商工会議所連合会等関係機関との連携

(5)関連団体事務の受託

① 西宮貿易協会

② 西宮地区雇用対策協議会

③ 西宮珠算振興会

④ 西宮興親会

⑤ 西宮市商店市場連盟

⑥ 西宮市商業近代化協会

⑦ 一般財団法人西宮更生保護協会

⑧ 環境再生保全機構(徴収業務受託団体)

⑨ 日本容器包装リサイクル協会

---

4. 特定課題への対応

---

(1)【新】デジタル化・DX 推進特別委員会の設置

(2)【新】SDGs 推進特別委員会の設置

(3)【新】「第 3 次中期行動計画(2024～2028 年)　～地域とともに西宮の未来を創る～」の策定

以上

令和5年度　収支予算書

目　　次

1. 令和5年度収支予算総括表　14頁

2. 令和5年度一般会計収支予算　16頁

3. 令和5年度中小企業相談所特別会計収支予算　19頁

4. 令和5年度会館・共済事業特別会計収支予算　21頁

5. 令和5年度特定退職金共済事業特別会計収支予算　23頁

6. 令和5年度退職給与資金積立金特別会計収支予算　24頁

西宮商工会議所　令和５年度　収支予算総括表

（単位：千円）

	合　　計				
	R5年度 予算額 A	R4年度 予算額 B	差引額 A－B	R4年度 決算見込 C	差引額 A－C
〈収入の部〉					
会費収入	68,000	68,000	0	68,000	0
会館建設負担金収入	0	0	0	305	Δ305
特定商工業者負担金収入	1,200	1,200	0	1,216	Δ16
一般事業収入	74,237	75,861	Δ1,624	72,494	1,743
会館運営収入	26,013	25,949	64	23,842	2,171
共済事業収入	185,459	187,036	Δ1,577	184,081	1,378
交付金収入	137,478	140,222	Δ2,744	134,067	3,411
雑収入	2,525	2,610	Δ85	3,464	Δ938
繰入金（一般会計）	11,441	19,428	Δ7,987	17,949	Δ6,508
繰入金（中小企業相談所特別会計）	3,310	3,310	0	3,310	0
繰入金（会館・共済事業特別会計）	0	0	0	0	0
繰入金（特定退職金共済事業特別会計）	0	0	0	0	0
過年度収入	510	665	Δ155	665	Δ155
前年度繰越金	129,852	123,283	6,569	143,635	Δ13,783
収入の部合計	640,025	647,564	Δ7,539	653,028	Δ13,002
〈支出の部〉					
事業費	267,674	279,921	Δ12,247	277,300	Δ9,626
人件費	136,567	138,476	Δ1,909	127,401	9,166
その他管理費	49,562	51,772	Δ2,210	58,490	Δ8,928
固定資産取得費	100	0	100	2,178	Δ2,078
退職金	49,500	24,597	24,903	28,246	21,254
基金積立金	17,000	0	17,000	0	17,000
繰出金（一般会計）	0	0	0	0	0
繰出金（中小企業相談所特別会計）	8,441	16,428	Δ7,987	13,299	Δ4,858
繰出金（会館・共済事業特別会計）	0	0	0	1,650	Δ1,650
繰出金（退職給与資金積立金特別会計）	6,310	6,310	0	6,310	0
借入金等返済支出	8,226	8,295	Δ69	8,302	Δ76
支出の部合計	543,380	525,799	17,581	523,176	20,204
収支差額（予備費等）	96,645	121,765	Δ25,120	129,852	Δ33,206
支出の部合計	640,025	647,564	Δ7,539	653,028	Δ13,002

（単位：千円）

左の内訳																								
一般会計					中小企業相談所特別会計					会館・共済事業特別会計					特定退職金共済事業特別会計					退職給与資金積立金特別会計				
5年度予算額A	4年度予算額B	差引額A－B	決算見込C	差引額A－C	5年度予算額A	4年度予算額B	差引額A－B	決算見込C	差引額A－C	5年度予算額A	4年度予算額B	差引額A－B	決算見込C	差引額A－C	5年度予算額A	4年度予算額B	差引額A－B	決算見込C	差引額A－C	5年度予算額A	4年度予算額B	差引額A－B	決算見込C	差引額A－C
68,000	68,000	0	68,000	0																				
0	0	0	0	0						0	0	0	305	Δ305										
1,200	1,200	0	1,216	Δ16																				
74,237	75,861	Δ1,624	72,494	1,743																				
										26,013	25,949	64	23,842	2,171										
										22,859	21,036	1,823	22,201	658	162,600	166,000	Δ3,400	161,880	720					
39,563	42,580	Δ3,017	37,551	2,012	96,550	96,280	270	95,145	1,405	1,365	1,362	3	1,371	Δ6										
1,731	1,829	Δ98	2,590	Δ859	691	771	Δ80	691	0	101	7	94	181	Δ80	1	1	0	1	0	1	2	Δ1	1	1
					8,441	16,428	Δ7,987	13,299	Δ4,858	0	0	0	1,650	Δ1,650						3,000	3,000	0	3,000	0
																				3,310	3,310	0	3,310	0
																					0	0	0	0
510	665	Δ155	665	Δ155																				
50,978	26,311	24,667	41,743	9,235						15,211	13,177	2,034	18,426	Δ3,215	2,137	333	1,804	0	2,137	61,526	83,462	Δ21,936	83,466	Δ21,940
236,219	216,446	19,773	224,259	11,960	105,682	113,479	Δ7,797	109,135	Δ3,453	65,549	61,531	4,018	67,976	Δ2,427	164,738	166,334	Δ1,596	161,881	2,857	67,837	89,774	Δ21,937	89,777	Δ21,939
101,673	110,373	Δ8,700	112,043	Δ10,370	6,461	6,693	Δ232	6,399	62	1,740	1,850	Δ110	1,898	Δ158	157,800	161,005	Δ3,205	156,960	840					
28,848	16,245	12,603	11,233	17,615	94,121	101,236	Δ7,115	97,608	Δ3,487	8,286	15,988	Δ7,702	15,967	Δ7,681	5,312	5,007	305	2,593	2,719					
27,629	30,068	Δ2,439	32,056	Δ4,427	1,790	2,240	Δ450	1,818	Δ28	19,878	19,140	738	24,420	Δ4,542	260	322	Δ62	191	69	5	2	3	5	0
										100	0	100	2,178	Δ2,078										
																				49,500	24,597	24,903	28,246	21,254
7,000	0	7,000	0	7,000						10,000	0	10,000	0	10,000										
8,441	16,428	Δ7,987	13,299	Δ4,858																				
0	0	0	1,650	Δ1,650																				
3,000	3,000	0	3,000	0	3,310	3,310	0	3,310	0															
										8,226	8,295	Δ69	8,302	Δ76										
176,591	176,114	477	173,281	3,310	105,682	113,479	Δ7,797	109,135	Δ3,453	48,230	45,273	2,957	52,765	Δ4,535	163,372	166,334	Δ2,962	159,744	3,628	49,505	24,599	24,906	28,251	21,254
59,628	40,332	19,296	50,978	8,650	0	0	0	0	0	17,319	16,258	1,061	15,211	2,108	1,366	0	1,366	2,137	Δ771	18,332	65,175	Δ46,843	61,526	Δ43,193
236,219	216,446	19,773	224,259	11,960	105,682	113,479	Δ7,797	109,135	Δ3,453	65,549	61,531	4,018	67,976	Δ2,427	164,738	166,334	Δ1,596	161,881	2,857	67,837	89,774	Δ21,937	89,777	Δ21,939

基金積立金

	R4年度	R5年度見込		
	期末残高	積立金	取崩	期末残高
会館施設整備基金	0	10,000	0	10,000
会館建設基金	0	0	0	0
財政調整基金	0	7,000	0	7,000
合計	0	17,000	0	17,000

令和５年度　一般会計収支予算

（令和５年４月１日～令和６年３月３１日）

収入の部　　（単位：千円）

勘　定　科　目 款 項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減額	備　　考
1. 会費収入	68,000	68,000	0	
1. 会費収入	40,460	40,460	0	
2. 特別会費収入	27,540	27,540	0	役員・議員
2. 特定商工業者負担金収入	1,200	1,200	0	
1. 負担金収入	1,200	1,200	0	
3. 事業収入	74,237	75,861	△ 1,624	
1. 検定事業収入	11,250	13,252	△ 2,002	珠算、簿記、販売士、福祉住環境コーディネータ、カラーコーディネータ、ビジネス実務法務、国際会計、ＰＣ、環境社会、ビジネスマネージャー他
2. 研修講習会収入	53,000	51,817	1,183	パソコン教室
3. 所報広告料収入	4,500	4,200	300	
4. 手数料収入	1,675	1,678	△ 3	貿易証明、容器包装リサイクル
5. その他事業収入	3,812	4,914	△ 1,102	珠算大会、イベント参加料他
4. 交付金収入	39,563	42,580	△ 3,017	
1. 補助金収入	29,483	30,050	△ 567	労働環境対策、地域活力増進、販路拡大等
2. 事業受託料収入	8,040	10,490	△ 2,450	経営支援、事業環境変化対応型支援、諸課題解決
3. 事務受託料収入	2,040	2,040	0	雇用対策協議会、貿易協会、珠算振興会、興親会、更生保護協会、商市連
5. 雑収入	1,731	1,829	△ 98	
1. 受取預金利息	1	1	0	
2. その他雑収入	1,730	1,828	△ 98	
6. 過年度収入	510	665	△ 155	
1. 過年度会費収入	510	665	△ 155	
7. 前期繰越金	50,978	26,311	24,667	
1. 前期繰越金	50,978	26,311	24,667	
合　　計	236,219	216,446	19,773	

支出の部　　（単位：千円）

勘定科目 款項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
1. 事業費	101,673	110,373	△ 8,700	
1. 事業費	93,783	100,253	△ 6,470	
1. 検定事業費	7,830	9,726	△ 1,896	珠算、簿記、販売士、福祉住環境コーディネータ、カラーコーディネータ、ビジネス実務法務、国際会計、ＰＣ、環境社会、ビジネスマネジャー
2. 研修講習会開催費	49,761	48,797	964	パソコン教室
3. 部会・委員会等活動費	2,300	1,100	1,200	
4. 広報・宣伝費	8,700	8,800	△ 100	所報
5. 地域振興開発費	836	876	△ 40	市民祭り補助等
6. 日本酒振興支援事業費	2,190	2,190	0	ルネサンス
7. 地域活力増進事業費	2,350	2,200	150	兵商連補助事業
8. 80周年記念事業費	0	6,216	△ 6,216	80周年記念、竣工式
9. 青年部活動推進費	600	210	390	
10. 女性会活動推進費	530	210	320	
11. 事業継続支援事業費	0	1,000	△ 1,000	
12. 地域経済再生支援事業費	1,443	1,050	393	
13. 労働環境対策事業費	1,800	1,800	0	兵商連補助事業
14. 創業支援事業費	13,350	13,910	△ 560	
15. 80周年地域の逸品事業費	1,000	1,000	0	
16. ビジネス交流会事業費	600	600	0	兵商連補助事業
17. その他事業費	393	468	△ 75	貿易証明、珠算大会他
18. 国際交流事業	100	100	0	
2. 受託補助事業費	7,890	10,120	△ 2,230	
1. 経営支援事業費	6,390	6,390	0	
2. 諸課題解決事業費	500	1,000	△ 500	専門家派遣
3. 事業環境変化対応型支援事業費	1,000	2,730	△ 1,730	
2. 管理費	56,477	46,313	10,164	
1. 給与費	25,108	13,608	11,500	
1. 本給	16,429	8,765	7,664	
2. 諸手当	2,601	1,840	761	
3. 賞与	6,078	3,003	3,075	
2. 福利厚生費	3,740	2,637	1,103	
1. 福利厚生費	3,740	2,637	1,103	社会保険料、労働保険料他

（単位：千円）

勘　定　科　目 款 項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減額	備　　考
3. 旅費交通費	1,500	900	600	
1. 旅費交通費	1,500	900	600	
4. 事務費	12,375	12,974	△ 599	
1. 通信運搬費	1,223	1,267	△ 44	
2. 図書印刷費	1,171	1,140	31	
3. 消耗品費	1,010	1,010	0	
4. 車両費	644	644	0	
5. リース料	2,405	2,191	214	
6. 選挙事務費	0	500	△ 500	
7. 事務諸費	5,922	6,222	△ 300	
5. 会議費	3,530	4,605	△ 1,075	
1. 会議費	3,530	4,605	△ 1,075	
6. 渉外費	950	3,220	△ 2,270	
1. 渉外費	950	3,220	△ 2,270	
7. 公課分担金	8,674	7,969	705	
1. 公課	8,100	7,395	705	日商等上部団体会費、租税等
2. 分担金	574	574	0	加入団体会費等
8. 会議所強化費	600	400	200	
1. 会議所強化費	600	400	200	
3. 積立金	7,000	0	7,000	
1. 財政調整基金積立金へ繰出	7,000	0	7,000	
4. 繰出金	11,441	19,428	△ 7,987	
1. 中小企業相談所特別会計	8,441	16,428	△ 7,987	
2. 退職給与資金積立金特別会計	3,000	3,000	0	
5. 次期繰越金	59,628	40,332	19,296	
1. 次期繰越金	59,628	40,332	19,296	
合　　計	236,219	216,446	12,773	

令和５年度　中小企業相談所特別会計収支予算

（令和５年４月１日～令和６年３月３１日）

収入の部　　（単位：千円）

勘　定　科　目 款 項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減額	備　　考
1. 交付金収入	96,550	96,280	270	
1. 補助金収入（県）	96,550	96,280	270	補助金内訳 人件費　86,864 事業費　9,686
2. 雑収入	691	771	△ 80	
1. 雑収入	691	771	△ 80	
3. 繰入金	8,441	16,428	△ 7,987	
1. 一般会計	8,441	16,428	△ 7,987	
合　　計	105,682	113,479	△ 7,797	

支出の部　　（単位：千円）

勘　定　科　目 款 項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減額	備　　考
1. 事業費	6,461	6,693	△ 232	
1. 事業費	6,461	6,693	△ 232	
1. 講習会開催費	1,800	1,578	222	
2. 記帳継続指導費	1,879	1,856	23	
3. 金融指導事務費	254	417	△ 163	
4. 施策普及費	890	850	40	
5. 資質向上対策事業費	176	112	64	
6. その他事業費	1,462	1,880	△ 418	
2. 管理費	95,911	103,476	△ 7,565	
1. 給与費	80,719	86,703	△ 5,984	
1. 本給	46,819	49,745	△ 2,926	経営指導員１０名 経営支援員３名
2. 諸手当	14,628	15,389	△ 761	旧国庫経営指導員１名 伴走型指導員１名
3. 賞与	19,272	21,569	△ 2,297	
2. 福利厚生費	13,402	14,533	△ 1,131	
1. 福利厚生費	13,402	14,533	△ 1,131	社会保険料、労働保険料他
3. 旅費交通費	250	250	0	
1. 旅費交通費	250	250	0	指導旅費、研修旅費
4. 事務費	1,540	1,990	△ 450	
1. 通信運搬費	1,110	1,560	△ 450	
2. 調査研究費	34	34	0	
3. 駐車場費	396	396	0	
3. 繰出金	3,310	3,310	0	
1. 退職給与資金積立金特別会計	3,310	3,310	0	
合　　計	105,682	113,479	△ 7,797	

令和５年度　会館・共済事業特別会計収支予算

（令和５年４月１日～令和６年３月３１日）

収入の部　　（単位：千円）

勘　定　科　目 款 項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減額	備　　考
1. 会館運営収入	26,013	25,949	64	
1. 使用料収入	18,221	17,381	840	
2. 分担金収入	7,792	8,568	△ 776	
2. 共済事業収入	22,859	21,036	1,823	
1. 大型保険取扱手数料	1,680	1,200	480	
2. 個人年金取扱手数料	24	35	△ 11	
3. 終身保険取扱手数料	35	35	0	
4. 終身医療保険取扱手数料	2,400	2,000	400	
5. ガン保険取扱手数料	120	150	△ 30	
6. 生命共済保険取扱手数料	8,600	9,006	△ 406	
7. 休業所得補償保険取扱手数料	3,120	2,320	800	
8. 労働保険取扱手数料	3,350	3,700	△ 350	
9. 公害関係取扱手数料	590	590	0	
10. 火災・自動車共済取扱手数料	160	150	10	
11. その他保険料手数料	1,180	1,050	130	
12. ユニット・リンク保険取扱手数料	1,600	800	800	
3. 交付金収入	1,365	1,362	3	
1. 報奨金等収入	1,365	1,362	3	全国労働保険事務組合
4. 雑収入	101	7	94	
1. 雑収入	101	7	94	
5. 繰入金	0	0	0	
1. 一般会計繰入金	0	0	0	
6. 前期繰越金	15,211	13,177	2,034	
1. 前期繰越金	15,211	13,177	2,034	
合　　計	65,549	61,531	4,018	

支出の部　　（単位：千円）

勘　定　科　目 款 項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減額	備　　考
1. 事業費	1,740	1,850	△ 110	
1. 事業費	1,740	1,850	△ 110	
1. 事業促進費	220	260	△ 40	
2. 加入者還元事業費	720	780	△ 60	
3. 給付金	800	810	△ 10	
2. 管理費	28,164	35,128	△ 6,964	
1. 給与費	7,863	15,147	△ 7,284	
1. 本給	5,640	10,680	△ 5,040	
2. 諸手当	63	297	△ 234	
3. 賞与	2,160	4,170	△ 2,010	
2. 福利厚生費	423	841	△ 418	
1. 福利厚生費	423	841	△ 418	社会保険料、労働保険料他
3. 会館管理費	11,737	11,618	119	
1. 施設保守費	9,239	9,178	61	管理、清掃、警備他
2. 修繕費	0	200	△ 200	
3. 駐車場管理費	2,498	2,240	258	
4. 事務費	8,141	7,522	619	
1. 通信運搬費	479	297	182	
2. 什器備品費	0	400	△ 400	
3. 消耗品費	200	300	△ 100	
4. 電力料	3,200	2,520	680	
5. 燃料水道料	1,400	959	441	
6. 損害保険料	475	400	75	
7. 事務諸費	10	296	△ 286	
8. 労働保険事務費	1,875	1,755	120	
9. 支払手数料	502	595	△ 93	
3. 固定資産取得費	100	0	100	
1. 固定資産取得費	100	0	100	
4. 積立金	10,000	0	10,000	
1. 会館施設整備基金積立金へ繰出	10,000	0	10,000	
5. その他支出	8,226	8,295	△ 69	
1. 借入金返済支出	7,000	7,000	0	
2. 支払利息	1,226	1,295	△ 69	
6. 次期繰越金	17,319	16,258	1,061	
1. 次期繰越金	17,319	16,258	1,061	
合　　計	65,549	61,531	4,018	

令和５年度　特定退職金共済事業特別会計収支予算

（令和５年４月１日～令和６年３月３１日）

収入の部　　（単位：千円）

勘　定　科　目 款 項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減額	備　　考
1. 共済事業収入	162,600	166,000	△ 3,400	
1. 共済事業収入	162,600	166,000	△ 3,400	
1. 保険料収入	94,200	96,000	△ 1,800	
2. 事務費収入	4,800	5,000	△ 200	
3. 給付金受入	63,600	65,000	△ 1,400	
2. 雑収入	1	1	0	
1. 雑収入	1	1	0	
3. 繰入金	0	0	0	
1. 一般会計繰入金	0	0	0	
4. 前期繰越金	2,137	333	1,804	
1. 前期繰越金	2,137	333	1,804	
合　　計	164,738	166,334	△ 1,596	

支出の部　　（単位：千円）

勘　定　科　目 款 項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減額	備　　考
1. 共済事業費	157,800	161,005	△ 3,205	
1. 共済事業費	157,800	161,005	△ 3,205	
1. 事業促進費	0	5	△ 5	
2. 支払保険料	94,200	96,000	△ 1,800	
3. 給付金	63,600	65,000	△ 1,400	
2. 管理費	5,572	5,329	243	
1. 給与費	4,521	4,275	246	
1. 本給	2,828	2,808	20	
2. 諸手当	468	359	109	
3. 賞与	1,225	1,108	117	
2. 福利厚生費	791	732	59	
1. 福利厚生費	791	732	59	社会保険料、労働保険料他
3. 事務費	260	322	△ 62	
1. 通信運搬費	70	120	△ 50	
2. 支払手数料	190	202	△ 12	
3. 次期繰越金	1,366	0	1,366	
1. 次期繰越金	1,366	0	1,366	
合　　計	164,738	166,334	△ 1,596	

令和５年度　退職給与資金積立金特別会計収支予算

（令和５年４月１日～令和６年３月３１日）

収入の部　　（単位：千円）

勘　定　科　目 款 項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減額	備　　考
1. 繰入金	6,310	6,310	0	
1. 一般会計繰入金	3,000	3,000	0	
2. 中小企業相談所特別会計繰入金	3,310	3,310	0	
2. 雑収入	1	2	△ 1	
1. 受取預金利息	1	2	△ 1	
3. 前期繰越金	61,526	83,462	△ 21,936	
1. 前期繰越金	61,526	83,462	△ 21,936	
合　　計	67,837	89,774	△ 21,937	

支出の部　　（単位：千円）

勘　定　科　目 款 項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減額	備　　考
1. 退職金	49,500	24,597	24,903	
1. 退職金	49,500	24,597	24,903	
2. 管理費	5	2	3	
1. 事務諸費	5	2	3	
3. 次期繰越金	18,332	65,175	△ 46,843	
1. 次期繰越金	18,332	65,175	△ 46,843	
合　　計	67,837	89,774	△ 21,937	